

UAゼンセン日本介護クラフトユニオン

「ケアマネジャー限定 実態調査アンケート」集計結果

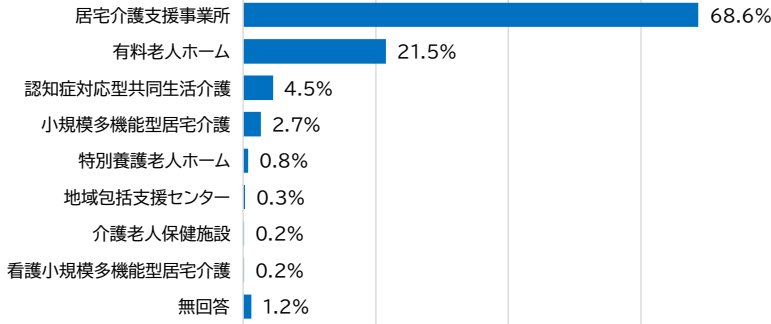
染川構成員

【実施期間】2024年4月26日～5月6日(10日間)

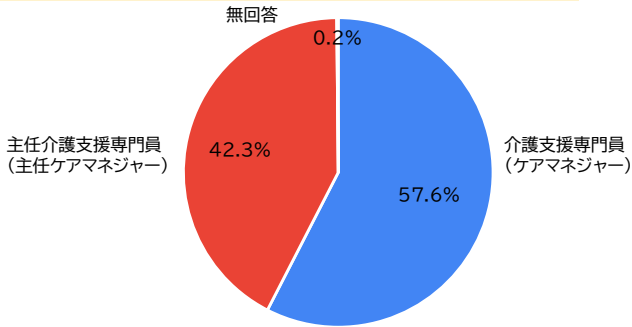
【調査方法】組合員が働く事業所にアンケート調査を依頼。Googleフォームにて回答

【回答数】641件

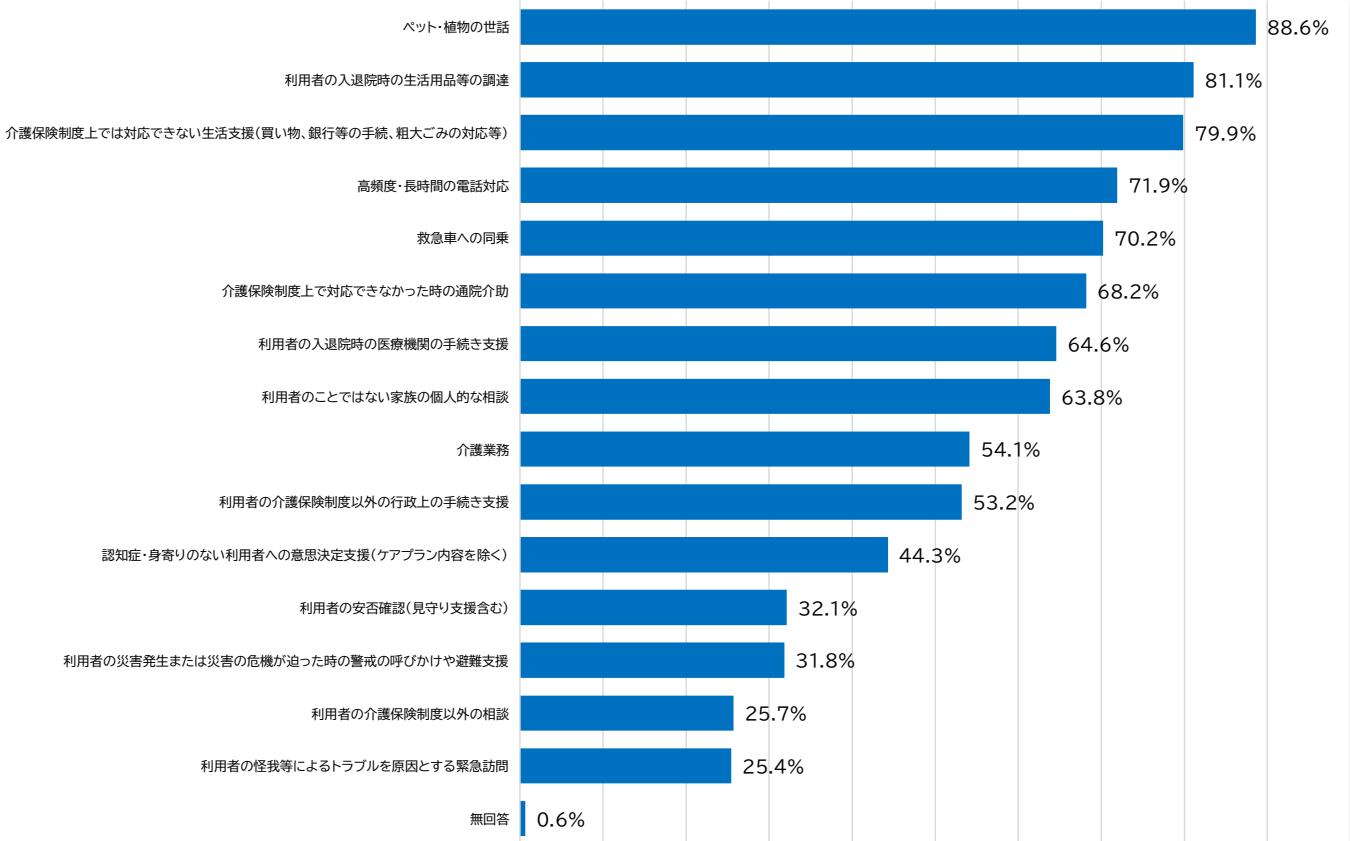
Q1.あなたがケアマネジャー(主任ケアマネ含む)として従事している場所はどこですか。n=641



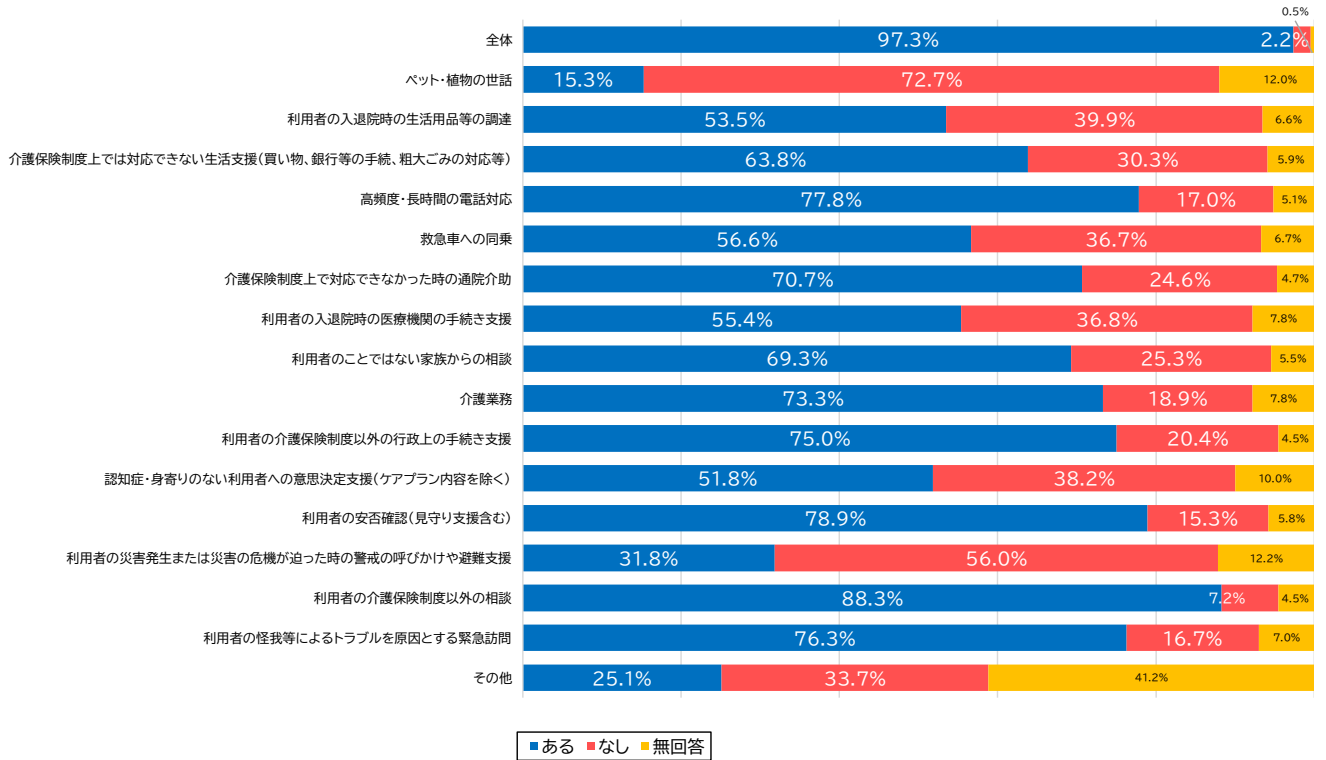
Q2.あなたが従事している職種はどちらですか。n=641



Q3.あなたが本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものはどれですか。(複数回答可) n=641



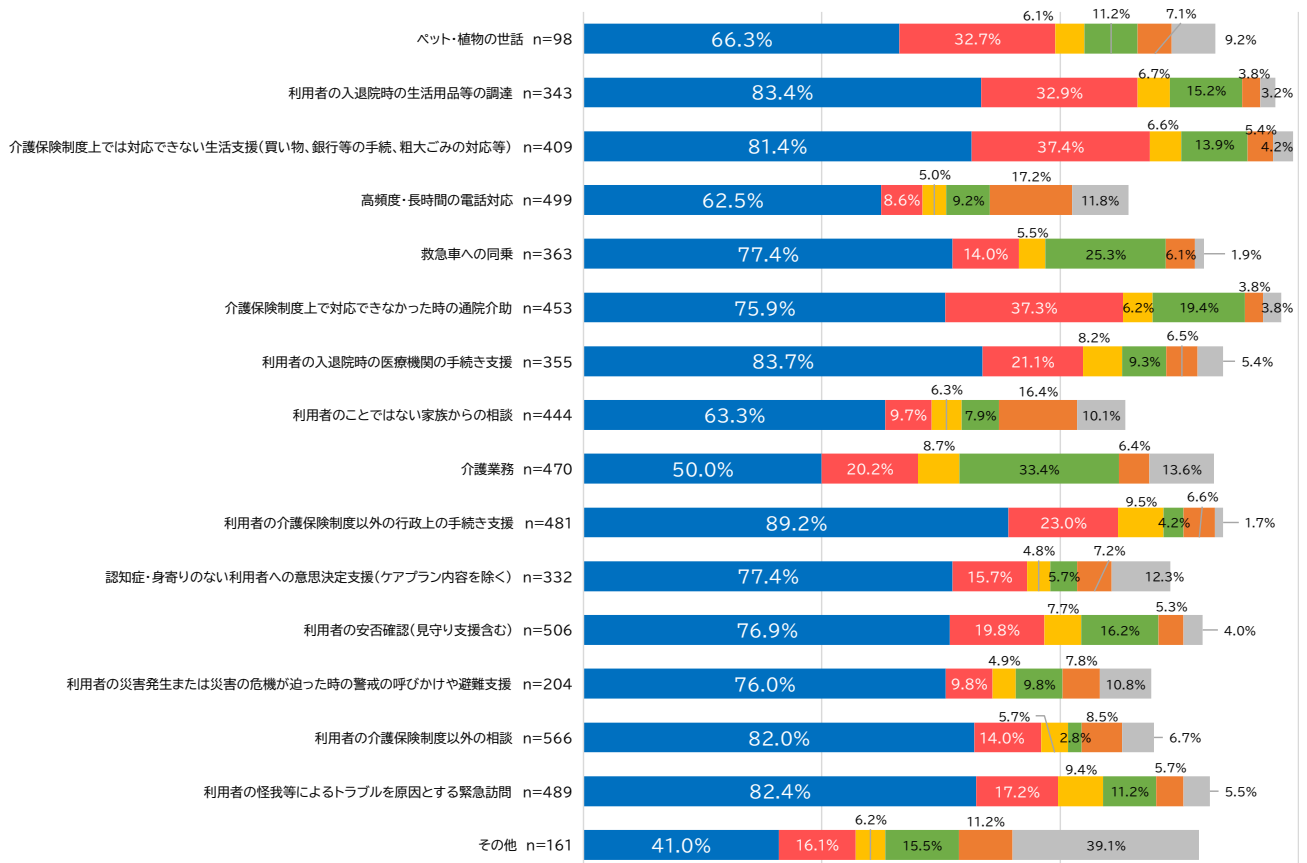
Q4.あなたは本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものの対応をしたことがありますか。n=641



■ある ■なし ■無回答

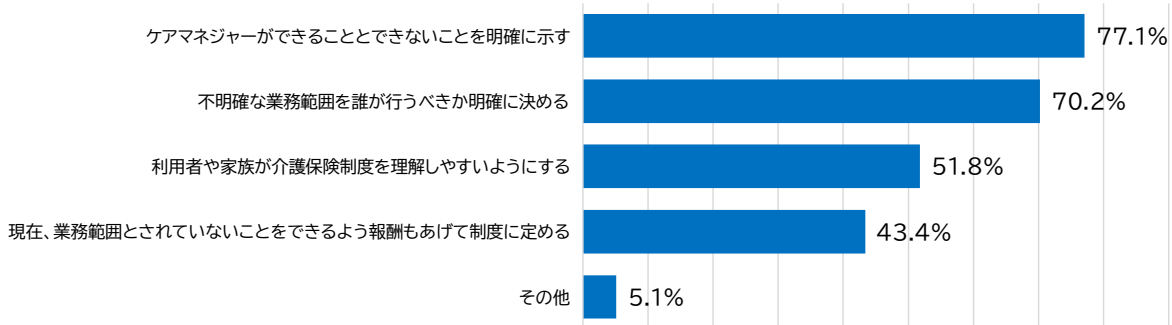
Q5.あなたは本来はケアマネジャーの業務範囲ではないと思うものの対応をなぜしましたか。

Q4で選択した項目についてそれぞれお答えください。(複数回答可)



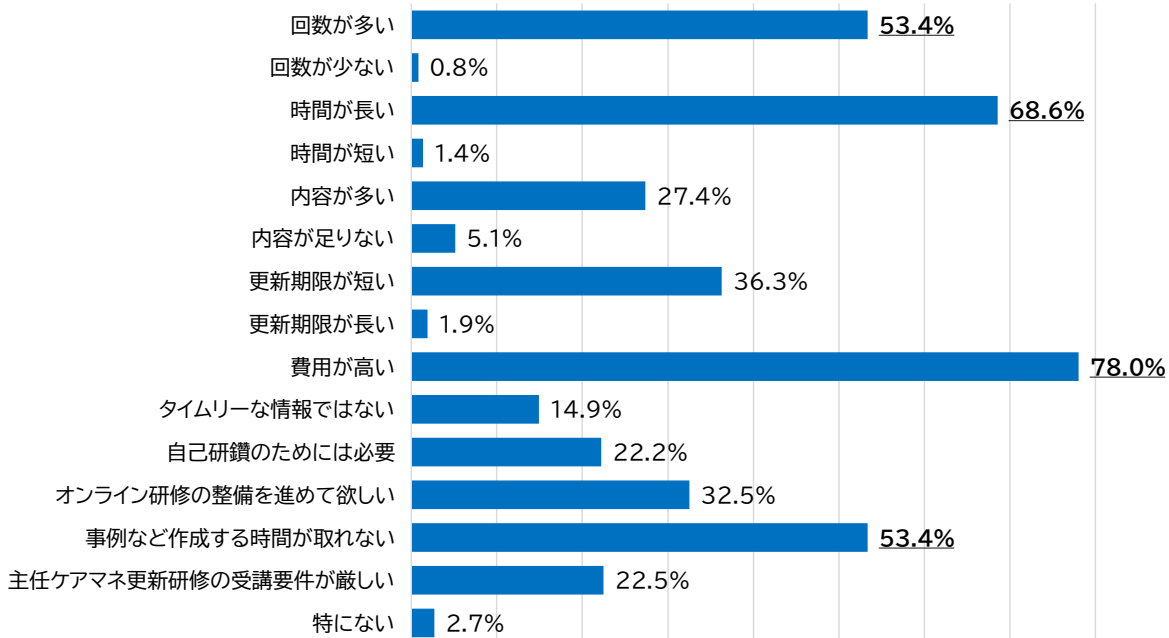
■支援できる家族や友人知人がいなかったため ■自費サービスを利用する金銭的な余裕がないため ■連絡などの手続きの手間を省くため
■人手不足のため ■その他 ■無回答

Q6.どうしたら業務範囲ではないことを対応しなくてもよくなると思いますか。(複数回答可) n=641

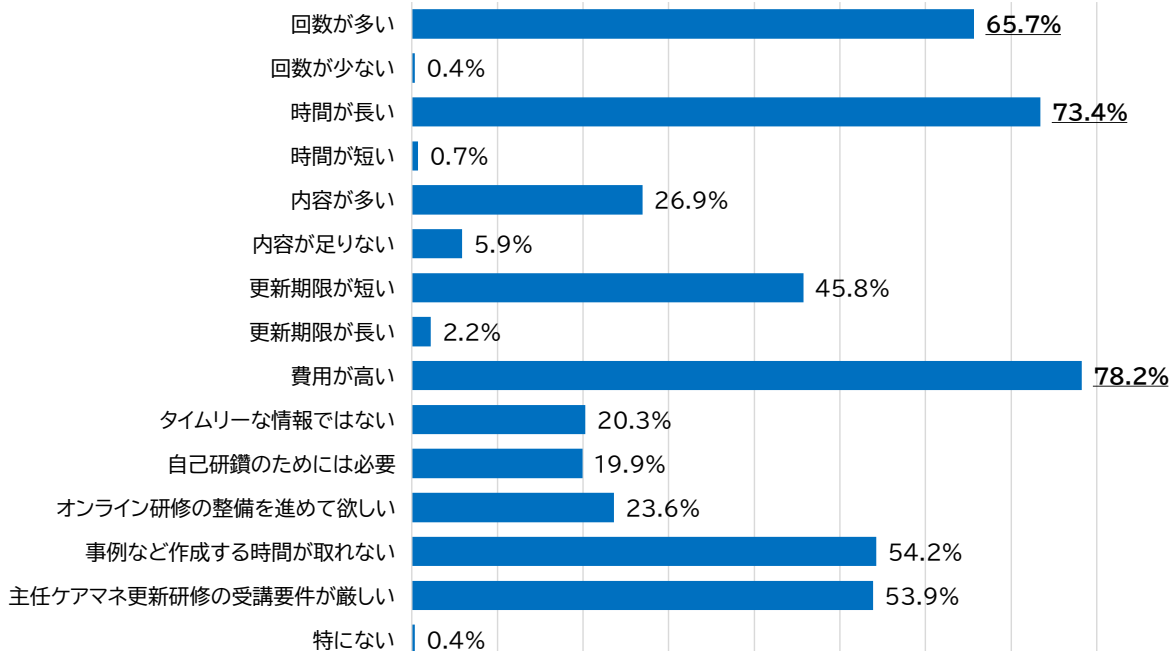


Q7.更新研修について思うことはありますか。(複数回答可)

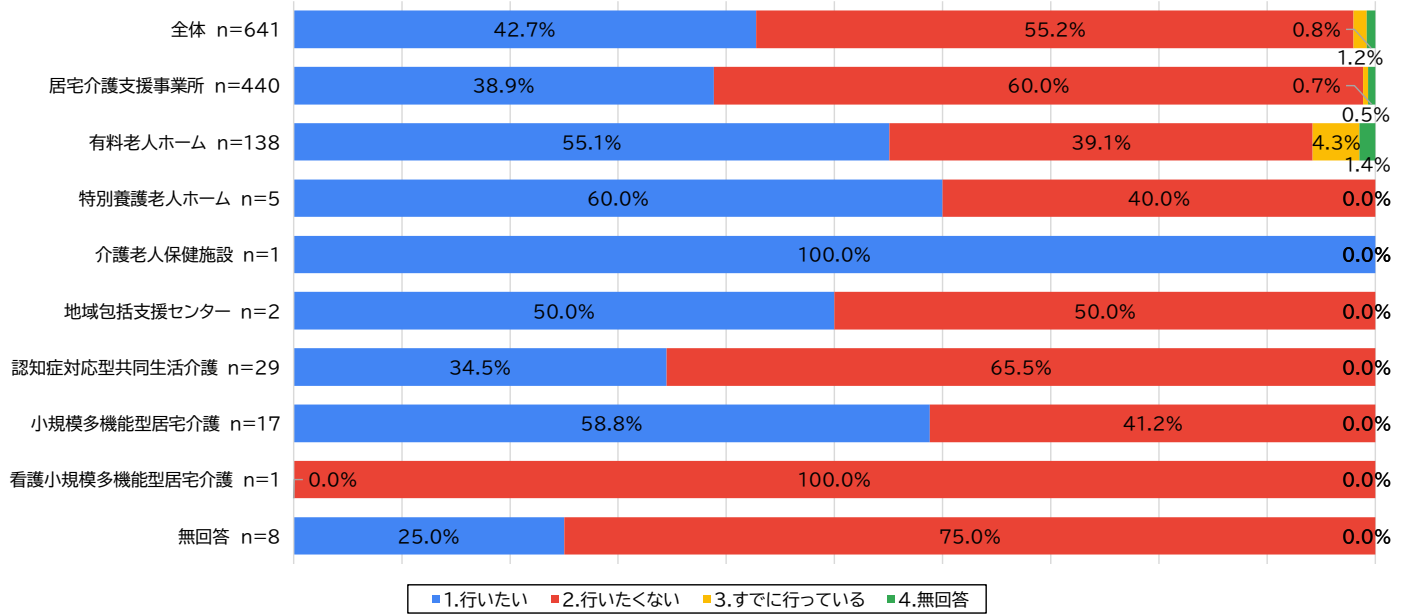
<介護支援専門員(ケアマネジャー)> n=369



<主任介護支援専門員(主任ケアマネ)> n=271

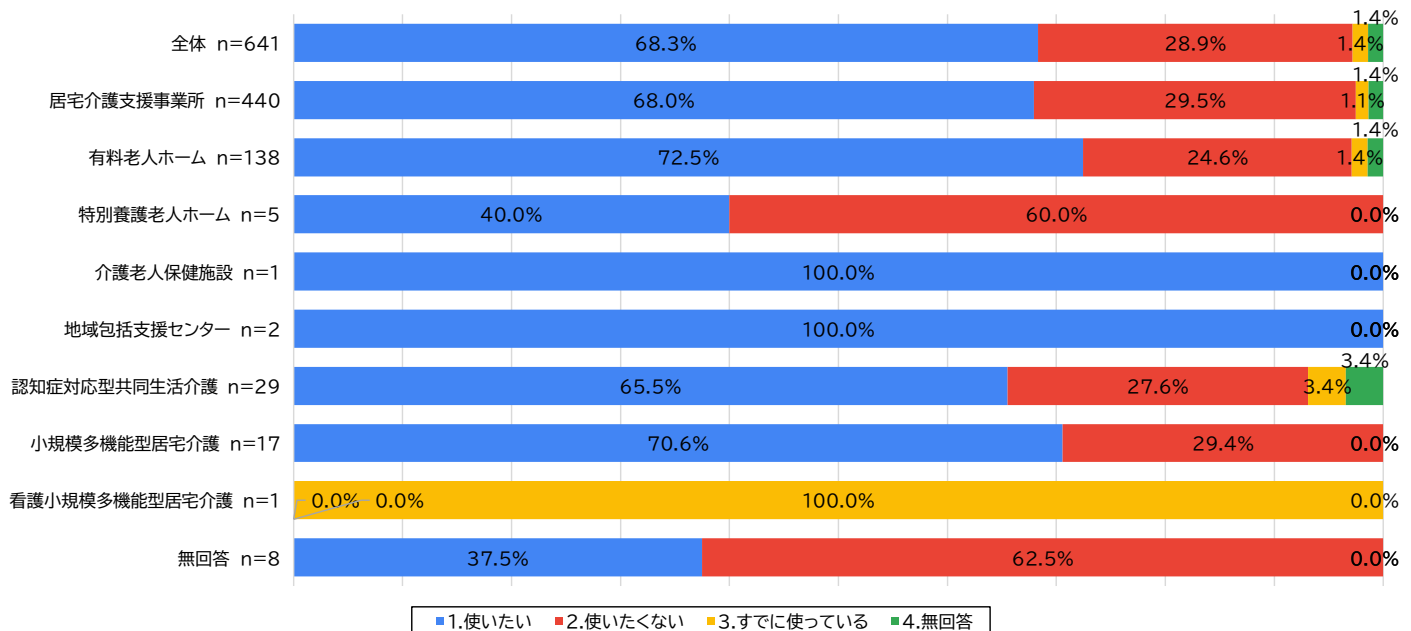


Q8.オンラインモニタリングについて



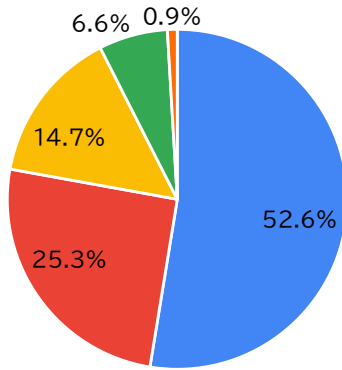
Q8.「行いたくない」理由(325件)	Q8.「行いたい」理由(250件)
直接会わなければわからないことが多い	移動時間が短縮できる・ガソリン代節約できる
2ヶ月に1回行かないといけなければ負担は変わらない	リモート勤務が可能になる
利用者が本音を話さなくなる	担当件数が増えていくと思うため
パソコンが一人一人に貸与されていないのでできない	
利用者にオンラインを行う環境が整っていない	

Q9.ケアプランAI作成について



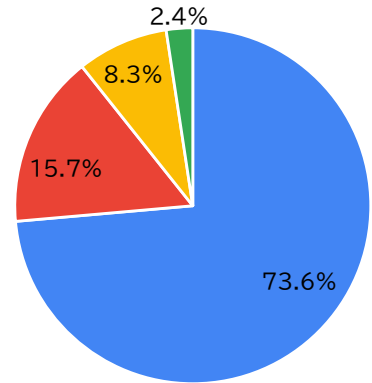
Q9.「使いたい」理由(407件)	Q9.「使いたくない」理由(161件)
考える時間が短くなり短縮につながる	個別性がなくなる
自分では思いつかないプランができるかもしれない	ケアマネの経験が必要なくなる
文章を作るのが苦手なので・・・	AIが信じられない
件数が増えると思うので効率化が図れる	
単純に興味がある	

Q10.ケアプランデータ連携システムについて n=641



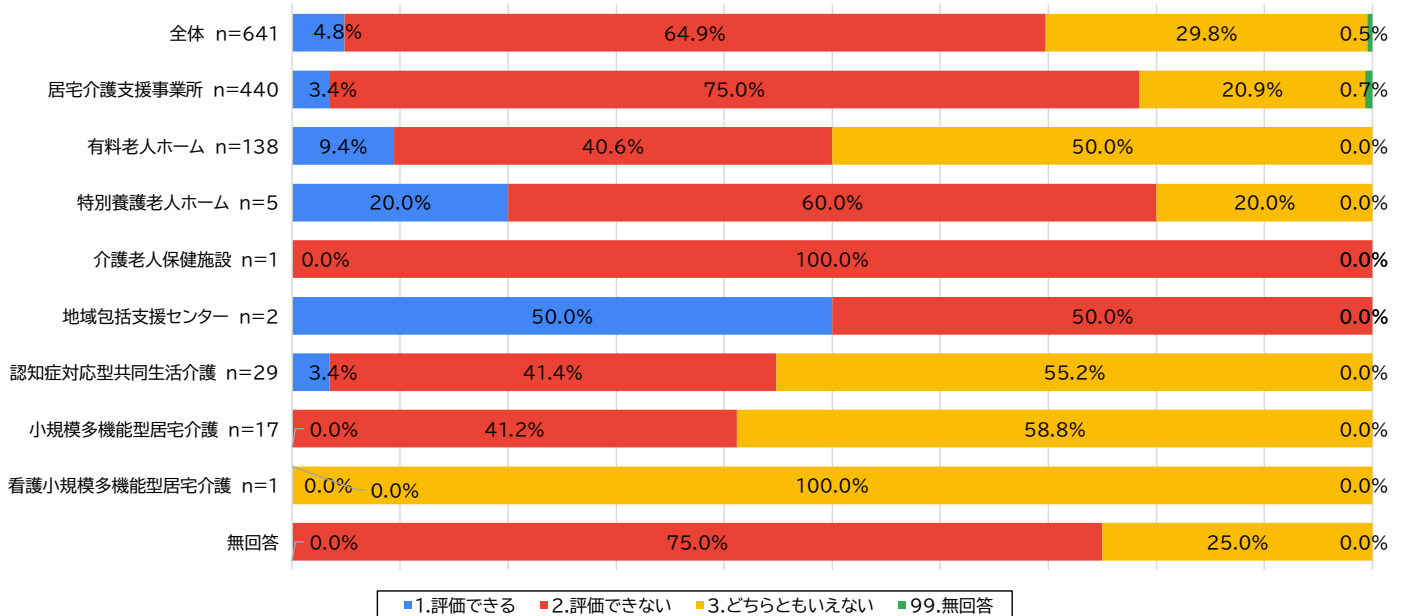
■ 導入していない ■ 導入しているかわからない ■ 導入している ■ 導入予定 ■ 無回答

Q10-2.「2.導入していない」理由 n=337



■ 理由はわからない
 ■ 連携先事業所が連携可能なシステムを導入していないため
 ■ 導入コストが高いため
 ■ 無回答

Q11.通減制の緩和(ケアマネ1人当たりの取扱い件数の増加)についてどう思いますか。



■ 1.評価できる ■ 2.評価できない ■ 3.どちらともいえない ■ 99.無回答

Q11.「評価できない」理由(389件)	Q11.「評価できる」理由(23件)
質の向上のために35件未満にしたのではなかったのか?	利用者の増加を考えると一人当たりの件数を増やすしかない
利用者としっかり向き合うことができなくなる	妥当な人数と考えるため
ICT化できる事業所(法人)ならいいが、整っていない	仕方がない
サービス残業が増える	ICT等の活用が増えても業務負担は変わらない
賃金は上がらないのに業務量が増えるばかり	ケアマネ業務を明確化しないと件数を増やすのは難しい
今でも大変なのにできると思えない	件数を増やしても給与は変わらないから
困難事例の利用者が増えているので件数を増やせない	メリットデメリットがあると思う
会社から件数を増やせと強要される	
事務作業が減っても相談内容は少なくなる	